

令和元年度(2019) 下水道事業会計決算概要

1. 概況

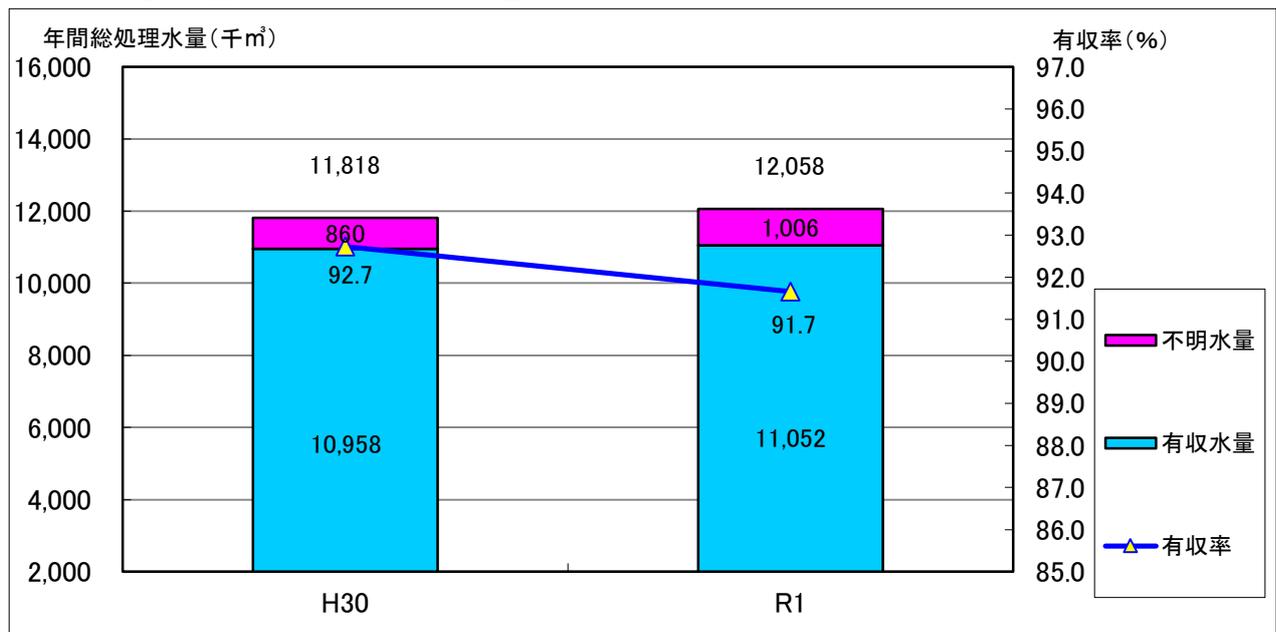
平成31年4月1日から出雲市下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用し、新たなスタートを切りました。

業務面では、収益的収支における使用料収入は、継続して整備事業を実施している公共下水道事業で、供用開始区域の拡大等に伴い増加しました。その他の事業においては、地域の人口減少等の影響もあり、横ばい若しくは減少となりましたが、全体としては微増となりました。

施設面では、引き続き、未普及地域の解消に向けた取組や老朽化した既存施設の更新等を行いました。

区分	令和元年度決算	平成30年度決算	増減
排水戸数(戸)	35,519	34,817	702
処理区域内人口(人)	116,339	116,777	△438
水洗化人口(人)	103,215	102,638	577
年間総処理水量(m ³)	12,057,834	11,817,704	240,130
年間有収水量(m ³)	11,052,178	10,958,186	93,992
一日平均処理水量(m ³)	32,945	32,377	568

2. 年間総処理水量と有収率の推移



3. 収益的収入及び支出

(単位:千円 税抜)

区 分	令和元年度 決算	平成30年度 決算	平成29年度 決算	令和元年度決算と 平成30年度決算と の差
下水道事業収益	6,581,843	—	—	—
営業収益	2,186,872	—	—	—
下水道使用料	2,038,555	—	—	—
他会計負担金	147,507	—	—	—
手数料ほか	810	—	—	—
営業外収益	4,390,494	—	—	—
加入負担金	18,900	—	—	—
他会計負担金	1,069,052	—	—	—
長期前受金戻入ほか	3,302,542	—	—	—
特別利益	4,477	—	—	—
下水道事業費用	6,128,098	—	—	—
営業費用	5,008,753	—	—	—
職員給与費	269,673	—	—	—
動力費	139,905	—	—	—
工事請負費	63,497	—	—	—
負担金	723,194	—	—	—
減価償却費	3,431,495	—	—	—
資産減耗費	37,059	—	—	—
委託料ほか	343,930	—	—	—
営業外費用	1,086,580	—	—	—
支払利息	942,659	—	—	—
その他営業外費用	143,921	—	—	—
特別損失	32,765	—	—	—
営業利益	△ 2,821,881	—	—	—
純利益	453,745	—	—	—

※地方公営企業法の適用初年度のため、令和元年度決算数値だけを記載しています。

収入は6,581,843千円、支出は6,128,098千円となり、収入支出差引で453,745千円の純利益となりました。

4. 資本的収入及び支出

(単位:千円 税込)

区 分	令和元年度 決算	平成30年度 決算	平成29年度 決算	令和元年度決算と 平成30年度決算と の差
資本的収入	5,563,769	—	—	—
企業債	2,400,400	—	—	—
他会計補助金	2,106,299	—	—	—
他会計負担金	475,045	—	—	—
国県補助金	446,676	—	—	—
工事負担金	131,256	—	—	—
貸付金償還金	4,093	—	—	—
資本的支出	5,885,529	—	—	—
建設改良費	1,295,180	—	—	—
管渠建設改良事業	1,208,070	—	—	—
処理場建設改良事業	17,294	—	—	—
流域下水道建設改良事業	69,618	—	—	—
備品等購入費	198	—	—	—
(建設改良費の内訳)		—	—	—
工事請負費	915,232	—	—	—
職員給与費	98,889	—	—	—
委託料	143,097	—	—	—
補償費	25,189	—	—	—
負担金	70,932	—	—	—
その他	41,841	—	—	—
企業債償還金	4,586,256	—	—	—
貸付金	4,093	—	—	—
収支不足額	△ 321,760	—	—	—

※地方公営企業法の適用初年度のため、令和元年度決算数値だけを記載しています。

収入は5,563,769千円、支出は5,885,529千円となり、収入支出差引で321,760千円の収支不足となりました。

不足額は、特別会計からの引継金及び損益勘定留保資金で補填しました。

【管渠建設改良事業】

主なものとして、「令和元年度大津処理分区雲根工区管渠工事」「令和元年度大津処理分区下原工区管渠工事(その2)」「令和元年度白枝処理分区白枝工区管渠工事(その2)」など総額工事費897,938千円で実施しました。

【処理場建設改良事業】

主なものとして、「馬木古志地区農集処理センターNo.2ばっ気攪拌装置取替工事」など総額工事費17,294千円で実施しました。

【流域下水道建設改良事業】

宍道湖流域下水道の建設改良について、69,618千円を島根県へ負担しました。

5. 留保資金残高

(単位:千円)

財源内訳	H30年度末残高	R元年度中増加額	R元年度中減少額	補てん額	R元年度末残高
特別会計からの引継金	—	163,751	—	163,751	0
建設改良積立金	—	0	—	0	0
損益勘定留保資金	—	305,042	—	158,009	147,033
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	—	0	—	0	0
当年度純利益	—	453,745	—	0	453,745
合計	—	922,538	—	321,760	600,778
貸倒引当金 賞与引当金(3条)	—				33,574
留保資金残高	—				567,204

令和元年度末の留保資金残高は、資本的収支の収支不足額を補てんした結果、567,204千円となりました。